

# 公募型プロポーザル選定委員会 評価基準

対象業務: 海洋プラスチックごみ削減に向けた使い捨てプラスチック等の使用量削減プロジェクト「ACTION FOR ZERO」促進業務

仕様書 該当箇所	評価項目	評価の視点	配点	係数	評価点				
					A	B	C	D	E
	<b>事業目的の理解</b>		<b>8</b>						
3	事業目的の理解度・企画全体	事業の背景や目的を十分に理解し、仕様書の趣旨に沿った内容であるか。（企画全体が対象者や目的を踏まえたものとなっているか。）	8	2	8	6	4	2	0
	<b>宮島・宮島口での更なる定着・拡大</b>		<b>40</b>						
6(1)	令和7年度業務の課題への対応	生分解性プラスチックカップへのオリジナル印刷について、製造段階又は既製品への印刷における課題への対応が具体的に示されており、現実的なものであるか。	12	3	12	9	6	3	0
	代替素材製品の受発注	令和7年度に構築した代替素材製品を導入する際の受発注・出荷・精算スキームを維持できる運営体制が具体的に示されているか。	4	1	4	3	2	1	0
	未参加事業者の参加促進	令和7年度未参加だった事業者に対するアプローチの手法が具体的に示されており、現実的なものであるか。	8	2	8	6	4	2	0
	継続利用への誘導策	購入に係る差額補填終了後に、導入事業者が継続して取り組めるようコスト負担の軽減策が具体的に示されているか	12	3	12	9	6	3	0
	差額補填手法	令和7年度からの継続事業者と令和8年度新規参加事業者への補填手法の差別化について、内容が具体的に示されており、現実的なものであるか。	4	1	4	3	2	1	0
	<b>認知拡大</b>		<b>28</b>						
6(2)	—	業務期間中を通じて県内外に広く「ACTION FOR ZERO」に興味関心を寄せてもらえるような広報戦略となっており、切れ目のない発信方法が具体的に示されているか。	8	2	8	6	4	2	0
		宮島、宮島口において「ACTION FOR ZERO」を視覚的に認知できる仕掛けが具体的に示されているか。	12	3	12	9	6	3	0
		「ACTION FOR ZERO」が海洋プラスチックごみゼロを目指す取組であることを理解してもらえる仕掛けが具体的に示されているか。	8	2	8	6	4	2	0
	<b>県内他地域での拡大に向けた次期モデル地区の調査・分析</b>		<b>32</b>						
6(3)	候補地の選定理由	候補地の選定理由は、事業の背景、趣旨との親和性や、地域の特性を考慮し、具体的に示されているか。	8	2	8	6	4	2	0
6(3)	調査手法	調査対象者について、地元自治体、地域の関係団体、事業者などが具体的に示され、各主体ごとのアプローチ手法が明記されているか。	12	3	12	9	6	3	0
6(3)	調査票の具体性	使い捨てプラスチックの種類や使用量などの現状、代替素材製品の導入に向けた課題など、対象者ごとの実情や認識を把握できる構成となっているか。	12	3	12	9	6	3	0
	<b>実施体制・遂行能力</b>		<b>12</b>						
—	実施体制	各業務の担当者名・役割・経験実績が明確に示され、本業務の目標達成に必要な知見やノウハウ、実績に基づく業務への適正が確認できるか。	8	2	8	6	4	2	0
—	スケジュール	業務スケジュールが具体的で、業務の遂行に必要な人員の確保、業務に精通した担当者等の配置、県と随時連絡が取れる体制が確保され、確実な遂行が可能と認められるか。	4	1	4	3	2	1	0
	<b>その他</b>		<b>8</b>						
—	予算経費及び内訳	予算額及び経費の内訳は、業務の内容と照らし合わせて妥当であるか。	8	2	8	6	4	2	0
<b>合 計</b>			<b>128</b>		<b>総合点：</b>				

※評価は次の5段階で行い、評価点は項目ごとに設定した係数を掛けた点数を適用する。  
**評価A:** 優れている(4点) **評価B:** やや優れている(3点) **評価C:** 普通(2点) **評価D:** やや劣っている(1点)  
**評価E:** 劣っている(0点)

※本評価基準における最低基準点は、77点（評価値の100分の60）とする。

※選定委員会における評価が次の条件に該当する場合は採択しない。

- ・委員による評価結果の合計が、最低基準点（77点×委員数）に満たないもの
- ・評価項目いずれかについて、評価E「劣っている」という評価を累計で3項目以上受けたもの